

一年生の皆さん、こんにちは。国語の課題その3をお届けします。
課題の勉強は進んでいますか? 「今未来手帳」への記入も忘れずにしましょう。

重要な確認と連絡

- 1, ノートで現代文と古典の2冊用意すること。ノートは必ず縦書きです! 授業が再開したら、提出する。(評価して成績に加える)
- 2, 課題テストの解答用紙を提出する。(採点して成績に加える)
- 3, 『頻出漢字マスター3000』P4～9は授業が再開したら、テストをする。

【現代文】

さて、まず現代文です。前回その2で、小説「羅生門」を学習すると予告しました。しかし、先生方で検討したところ、「羅生門」は授業で学習した方が良いと言ったことになりました。そこで、予定を変更します。

教科書8ページ。「客観的と抽象的」という文章を勉強します。
次の指示に従って、自分で3時間の勉強をしよう。

1 時間目 本文を通して読み、語句の意味調べをノートにしよう。

以下の語句は必ず調べよう!

客観的 抽象的 スタンダード 必要に迫られる
主観的 具体的 是が非でも 卑近

その他に自分で?と思う言葉があれば、調べて書いておこう。

2 時間目 本文は三つの段落に分かれている。それぞれの段落の要約をしてみよう。

要約はノートに3行くらいでまとめよう。

3 時間目 学習の手引き

- ② 「主観的で具体的に感情的なもの」と「客観的で抽象的な思考、あるいはそれらを伴う理性的な行動」について、筆者はどのように述べているか、それぞれノートにまとめよう。
- ③ 「客観的に考える」と「抽象的に考える」の特徴について、互いの関係に注意してノートにまとめよう。

【古典】

皆さんこんにちは。自力で頑張れましたか?

お待ちかねの「検非違使忠明」の現代語訳です。まだ、古語の知識などについて授業で学習していないものが多いので、大雑把に内容が把握できていれば大丈夫です。

(現代語訳)

今となつては昔のことだが、忠明という検非違使がいた。(その忠明が)青年であった時、清水の橋殿で、京童部とけんかをした。京童部は、刀を抜いて忠明を取り囲んで殺そうとしたので、忠明も刀を抜いて、(応戦しながら)本堂の方へ逃げると、本堂の東の端に、京童部が数多く立ち(ふさがり)向かってきたものだから、その方へは逃げる事ができないので、部の下戸があったのを取って、脇に挟んで、前の谷に飛び降りたところ、部の下戸に風が押しとどめられて、谷底に鳥がとまるように、ゆっくりと落ちていったので、そこから逃げ去ってしまった。京童部は、谷を見下ろして、驚きあきれて立ち並んで見ていた。

忠明は、京童部が刀を抜いて立ち向かってきた時、本堂の方に向いて、「観音様、お助けください。」と申し上げたので、もっほいれはそれのおかげだと思つた。

忠明が語つたのを聞き継いで、このように語り伝えているのか。

問題の解答

二 「部のもとに風しぶかれて、谷底に鳥のみるやうに、やうやく落ち入りにければ」の現代語訳は右(前ページ)の傍線部です。ただし、訳をするわけではないので、部で風を受けながら、鳥のようにゆっくりと谷底へ降りる様子。と答えたら大丈夫OK

三 ・「これ」は、(忠明が)谷に飛び降り、無事に京童部たちから逃れることができたこと。

・「そのゆゑ」は、観音に助けを求め、その加護が得られたこと。

・「部から当時の人々の思いについてわかること。」

奇跡的で説明ができないような出来事は信仰による神仏の加護が理由であると考えていたことが読み取れます。(これは今も同じですね。)

四 このお話のあらすじ

検非違使忠明が若かった頃、京童部とけんかをした。京童部は大勢で、しかも刀を抜いて向かってきたので、忠明は観音様に「お助けください」と言って部を脇に抱えて谷底に降り、無事に逃げる事ができた。忠明は観音の加護のおかげだと思った。

忠明が語ったことを今、人々が語り継いでいる。

いかがでしたか？

それから、本文を何回も音読していますか？漢字の読みもしっかり覚えましょう。古典でも漢字の読みは質問されます。読みの解答は現代仮名遣いで答えて下さい。

では、次の問題に進みましょう。

今は昔、忠明といふ①検非違使ありけり。若男にてありける時、②清水の橋殿にして、京童部といさかひをしけり。京童部、刀を抜きて忠明を立てこめて③殺さむとしければ、忠明も刀を抜きて、④御堂の方に逃ぐるに、御堂の東の⑤端に、京童部あまた立ちて向かひければ、その傍に⑥え逃げずして、部のもともありけるを取りて、脇に挟みて、前の谷に踊り落つるに、④部のもとに風しぶかれて、谷底に鳥のみるやうに、やうやく落ち入りにければ、そこより④逃げていけり。京童部、谷を見下ろして、⑤あたましがりてなむ立ち並みて見ける。

忠明、京童部の刀を抜きて立ち向かひける時、御堂の方に向きて、「観音、助け給入。」と申しければ、ひとへにこれそのゆゑなりとなむ思ひける。

忠明が語りけるを聞き継ぎて、かく⑥語の伝へたゆゑ。

問1 破線部①～④の読みを現代仮名遣い(ひらがな)で答えましょう。

問2 傍線部①④の主語は誰ですか。

問3 傍線部②・③・⑤・⑥を現代語訳してみてください。(古語辞典を使ってみましょう)

問4 本文中から、比喩表現になっている部分を五字以上十字以内で抜き出して答えましょう。

問5 傍線部④について、「京童部」はじつじつことをあなましがったのでしょうか。五〇字以内で分かりやすく説明しましょう。

※ 何度も見直してできるノート作りを心がけよう。同じ間違いを繰り返さないように、一度学習したことを振り返るじょうが大切。ノートにすべしじょうが大切です。